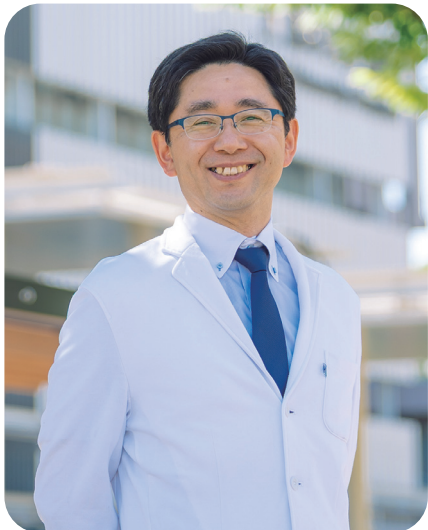


令和9年度 熊本大学病院群

# 卒後臨床研修 プログラム



## センター長挨拶



熊本大学病院  
副病院長(医療教育・研修担当)  
総合臨床研修センター長

### 坂上 拓郎

来年春から研修医として新たな一歩を踏み出す皆さんにとって、どのプログラムを選択するかは極めて重要な意思決定であり、迷いも大きい時期かと思えます。熊本大学では、これまで地域の中核医療機関との連携を基盤に「熊本大学病院群」を形成し、質と実効性を兼ね備えた臨床研修システムを継続的に発展させてきました。本制度の理念である、基本的診療能力の確実な修得、地域医療への責任と使命感の醸成、基礎と臨床を架橋する研究マインドの育成、多面的評価の実装、そして指導體制の強化は、現在のプログラム設計にも一貫して反映されており、総合力の高い研修体系として評価を受けています。2020年度以降は、内科・救急・外科・産婦人科・小児科・精神科に加え、地域医療および一般外来を必修分野とすることで、より実践的かつバランスの取れた研修構造へと進化しました。2年間という限られた期間の中で、臨床現場に即した知識と技能を体系的に修得できるよう、柔軟性と教育的質を両立したプログラムとなっています。2022年度に導入した「自由設計コース」は、その後も運用の中で洗練が進み、個々のキャリア志向に応じた最適な研修設計を可能としています。複数の研修病院を組み合わせたローテーション、診療科選択、研修期間の調整など、高い自由度を確保しながらも、教育的整合性を担保している点が特徴です。また、総合診療・地域医療特化コース、周産期特化・小児科特化コースといった明確な志向を持つコースも引き続き提供しており、多様なニーズに対応しています。さらに、研修医・学生の声を踏まえた制度改善も継続して行ってきました。他科ローテーション中の救急研修の導入や、処遇面の改善(住居手当を含む)など、実際の研修環境の質を高める取り組みを重ねています。加えて、豊富なカンファレンスや体系的なWebレクチャーは、日常診療と並行して臨床推論力を高める機会として機能しており、本プログラムの大きな強みの一つです。

初期臨床研修の2年間は、単に経験を積む期間ではなく、医師としての思考様式と臨床基盤を確立する決定的な時間です。本プログラムは、その先の専門研修への円滑な接続を見据えると同時に、柴三郎プログラムに代表されるClinician Scientist育成の仕組みも備えており、研究志向を持つ方にとっても十分に応えうる内容となっています。

将来の目標や進むべき道は一人ひとり異なりますが、その実現に必要な環境を整えることが私たちの役割です。皆さんが自身の可能性を最大限に発揮できる場として、熊本大学病院群での研修を選択していただけることを期待しています。

## スタッフ紹介

総合臨床研修センター副センター長 **吉田 素文**



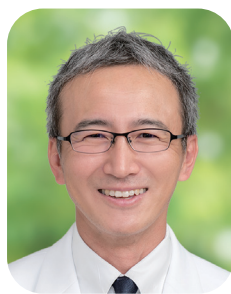
医師の学びは、医療現場で先輩や他職種の支援を受けながら進める自己成長であり、臨床のみならず研究や行政にも共通します。言い換えると、あらゆる医師は、後輩や他職種の学びを支援することで自身も成長しています。私たちは研修医の皆さんにも後輩や他職種の学びを支援する機会を提供し、その経験を通じて自己成長を促したいと考えています。

総合臨床研修センター副センター長 **柿添 豊**



本院の初期研修プログラムは、自由設計コースの設立、救急研修の充実、処遇改善、トレーニング施設の充実など、近年多くの面で改善しており、マッチ者が増加しています。今後も皆様の声を反映し、よりよいプログラムに変えていきたいと思えます。私達スタッフもしっかりサポートします。お待ちしております！

総合臨床研修センター副センター長 **井田 智**



何でも相談しやすい雰囲気づくりを大切にし、日常の中で自然に学びが生まれる環境づくりに取り組んでいます。大学病院ならではの専門的な医療と、地域の現場での日常診療まで、幅広く学べる体制のもと、実践力を養う研修の充実を図っています。熊大で研修して本当に良かったと感じてもらえるよう、皆様の成長を支えてまいります。ぜひ一緒に学びましょう。

総合臨床研修センター専任教員 **尾池 史**



私は、自分の専門である心臓超音波検査を通して、研修医の先生方の臨床スキルアップに貢献できる企画を検討しています。皆様と共に成長できるように取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## プログラム説明

### ● 個々のニーズに応えるプログラム

本院では令和4年度より自由設計コースを新設し、皆様のニーズに合わせた自由度の高い研修プログラムを組むことが可能となりました。大学病院と地域医療研修に加えて、最大3箇所まで協力型研修病院・施設での研修を行うことができます。また、総合診療・地域医療特化コースや周産期特化・小児科特化コースといった特徴あるコースを設けています。

## よ り よ い 研 修 の た め に

### 自由設計コース A(一般枠)、B(熊本大学病院奨学金受給者枠)

熊大病院及び地域医療研修先病院を除き3病院まで研修可能！  
自分のニーズに合うようにローテートを組んで研修することが出来ます。

ニーズに応えます！

### 救急部における救急研修

希望者を対象に、熊本大学病院の救急部(救急外来)において  
平日準夜帯(17:15~22:00)及び休日準夜帯(15:00~22:00)の救急研修を実施

### 処遇の改善

- 協力型研修病院・施設で3ヶ月以上研修する場合は研修先での雇用・給与基準を適用
- 住居手当の支給
- 準夜帯の救急研修に従事した場合、超過勤務手当又は救急勤務医手当(1回につき18,000円)を支給(最大月4回まで)
- 採用日に、10日の年次有給休暇を付与

処遇を改善します！

### 低侵襲医療トレーニングセンター 遠隔診療トレーニングセンターの設置

初期研修医を対象にトレーニングを実施

最新設備で学べます！

## 各プログラムのローテーションパターン (カッコ内は必修研修期間)

### プログラム自由設計コース A(一般枠)、B(熊本大学病院奨学金受給者枠)

24ヶ月

熊本大学病院12ヶ月以上+協力病院・施設(0ヶ月~最長12ヶ月) 自由選択

内科(24週以上)、救急部門(12週以上)外科、小児科、産婦人科、精神科(各4週以上)、地域医療(4週以上)、選択

- ※ 救急部門は同一施設でのブロック研修(12週以上(うち麻酔科研修は4週まで可))を行う。
- ※ 4週以上の外来研修を含む。
- ※ 1つの協力病院での研修期間は3ヶ月以上(地域医療研修および必修単科(産婦人科・精神科)病院、その他研修協力施設は1ヶ月でも可)。
- ※ 研修先(協力病院・施設)の数は、地域医療研修先を除き3病院まで。

### プログラム総合診療・地域医療特化コース

12ヶ月

24ヶ月

熊本大学病院

指定協力型臨床研修病院

内科(24週以上)、救急部門(12週以上)、総合診療科(もしくは総合内科)(12週以上)、地域医療(12週以上)、  
外科、小児科、産婦人科、精神科(各4週以上)、選択

- ※ 4週以上の外来研修を含む。

### プログラム周産期特化・小児科特化コース

24ヶ月

熊本大学病院

内科(24週以上)、救急部門(12週以上)、外科、精神科(各4週以上)、地域医療(4週以上)

(1) 周産期を選択する場合:産科・婦人科(32週以上)、小児科(12週以上)、選択 (2) 小児科を選択する場合:小児科(32週以上)、産科・婦人科(12週以上)、選択

- ※ 周産期または小児科のいずれかを希望することが出来るコースである。
- ※ 2年次の選択科として小児科または産婦人科に関連する診療科、協力病院での研修も可能である。
- ※ 大学病院または協力病院での研修に4週以上の外来研修を含む。

## ローテートの例



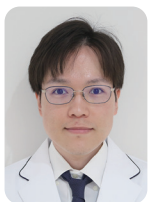
令和6年度プログラム修了 **又吉 全也**

**迷っているからこそ選んでほしい、熊大での初期研修**

「私は初期研修修了後の専門分野を明確に決めきれなかったため、できるだけ多くの診療科を経験し、その中で自分の進む道を見つけたいと考えていました。そのため、幅広い診療科を有し、大学病院でしか経験できない専門的な領域にも触れることができる熊本大学病院を初期研修の基幹病院として選択しました。多くの診療科を経験する中で、将来どの分野に進んだとしても他科の視点を持つことの重要性を実感しました。特に印象に残っているのは、患者さんと向き合う時間を十分に確保できたことです。本院では研修医に求められる業務負担が過度に多くな

い分、一人ひとりの患者と丁寧に話をすることができました。実際に対話を重ねる中で、症状の背景にある生活や心理面の問題に気づくことも多く、疾患だけでなく患者その人を理解することの重要性を学びました。このような経験は、今後どの専門分野に進むとしても基盤となるものであり、非常に有意義であったと感じています。進路に迷っている方や、患者と向き合う力を大切にしたい方にとって、本院は非常に適した環境であると考えます。」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	血液・膠原病・感染症内科		腎臓内科	画像診断・治療科	中央検査部	放射線治療科	神経精神科	小児科	産科・婦人科	救急部		
2年目	地出)そよう病院		熊本地域医療センター									



令和6年度プログラム修了 **佐藤 伶志郎**

**熊大研修の魅力**

研修先を選ぶ際に重視するポイントは何でしょうか。研修医ではまずは基礎を固めたい、そんな思いで専門性が高くアカデミックな場所より、Commonな疾患が診やすい市中病院を選ぶ人が多いと思います。しかし、アカデミックとCommonのどちらかしか選べないわけではなく、熊大は両方のいいところ取りができる環境だと感じています。その環境を支えているのが自由設計コースの存在です。県内外の協力病院の選択肢が非常に多く、最大1年間+地域医療研修期間は協力病院・施設での研修

が可能なので、Commonな疾患の経験も十分に積める環境があります。

またこのプログラムでは、研修開始後でも自身のローテーションを変更でき、2年次の外病院であれば1年次の秋に、熊本大病院内の研修であれば1か月前まで変更が可能です。研修生活は学生時代のイメージ通りのこともありますが、どうしても実際に始めてみないと気づけないことも多くあります。研修開始後の興味やキャパシティにあわせてローテーションを変更できるのは強みだと感じています。私自身も1年次に経験の幅を増やしたいと思い、協力病院での研修と地域医療の期間を増やしました。それに柔軟に対応してもらえたのは熊大の研修ならではの強みだと思います。

診療科・指導医の厚さ、そして自分の成長に合わせて研修を変えられる環境——熊本大病院での研修に少しでも興味を持ったなら、ぜひ一度見学や相談会に参加してみてください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	糖尿病・代謝・内分泌内科		呼吸器内科	救急部		麻酔科	中央検査部	画像診断・治療科	神経精神科	消化器内科	循環器内科	泌尿器科
2年目	地出)小国公立病院	地出)天草地域医療センター	産科・婦人科	救急部	腎臓内科	小児科	熊本中央病院					



令和7年度プログラム **北原 寛弓**

**指導医も同期も2倍**

私は1年目を国立病院機構熊本医療センターで研修させていただき、今年4月から熊本大学病院での研修が始まったばかりの2年目研修医です。現在は産婦人科にてお世話になっております。珍しい婦人科腫瘍の手術や産科危機的出血、不妊治療まで産婦人科の領域を学ぶ上で経験したいことを網羅的に勉強させていただいており、充実した日々を送っています。妊娠・出産、悪性腫瘍、生殖・内分泌、ヘルスケアすべての領域に専門の先生が常勤でいらっしゃるという人材の豊富さは大学病院ならではの、どの分野も密度の高い貴重な経験をさせていただいています。

初期研修先を考えたときに最低でも2つの病院の先生方と人脈を築けて同期も病院の数だけ増えるという自由設計プログラムは非常に魅力的でした。実際に熊本医療センターでも多くの先生にご指導いただき、賑やかな同期と支え合いながら過ごした1年間は宝物です。4月から環境が変わることに緊張していましたが、3年目として大学病院に入局された去年大変お世話になった1つ上の先輩方も多くいらっしゃり、心強かったです。

自由設計プログラムを活かし、市中病院でcommon diseaseを学びながら医師としての下地をせっせと作り、大学病院で一筋縄ではいかない症例を学ぶというのは積極的に検討しても良い選択肢なのではないかと思えます。今年1年は大学病院にいますので気になることがあったら遠慮なく聞いてください。お待ちしております。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	熊本医療センター											
2年目	産科・婦人科	糖尿病・代謝・内分泌内科	呼吸器内科	皮膚科・形成外科	血液・膠原病・感染症内科	地出)あけぼのクリニック	中央検査部	循環器内科	脳神経内科	小児科	画像診断・治療科	



令和7年度プログラム **秋山 直諒**

**熊大式たすき掛けの魅力**

初期研修先病院を選ぶにあたって、皆様は研修先をどのように選んでおられますでしょうか。私は志望科の形成外科がある病院を前提として、学べる環境があるか、立地、給料、待遇などを調べ、気になった病院は日本中どこでも見学に行きました。その結果縁もゆかりもない熊本大学病院を選んだわけですが、その理由の1つをここで話させていただきます。多くの大学病院の研修にはたすき掛けというシステムがあり、これは通常1年間大学病院、1年間外病院で研修を行います。しかし熊本大学病院のたすき掛けは12か月間を小分けにでき、1年目の6-11月に〇〇病院、2

年目の5月-7月に□□病院、1-3月に△△病院で計12か月という選び方ができます。この熊大式たすき掛けのメリットは何といっても各病院の強い診療科を選んで研修できることです。また、私のように研修は頑張りたけれど1年は体がもつか不安。でも3か月だけなら...という方にも向いていると思います。また、他の大学病院同様3か月以上の外病院研修では外病院の給料になり、寮はありませんが家賃補助があり、給料も大学病院としては屈指の金額で立地も申し分ありません。

何に重きを置いて研修先病院を選ぶかは皆様次第ですが、私は熊本大学病院をマッチング第一志望にして後悔はなかったと感じております。

ここまで目を通していただきありがとうございました。皆様の進路決定の一助になれば幸いです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	腎臓内科		皮膚科・形成外科	熊本機能病院								
2年目	産科・婦人科	神経精神科	形成外科	皮膚科	地出)天草地域医療センター	整形外科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	腎臓内科	熊本機能病院			

## ● 研修医の日常

### 出勤



基本は8:30から業務が始まります。  
ただし、朝からカンファレンスや回診がある日はもう少し早い時間の出勤になります。

01

### 手技・トレーニング



研修医の先生も積極的に手技を行うことができます。それぞれの科でできる手技は異なりますが、ルート確保・採血・気管支鏡・胸腔穿刺など。もちろん、手技の前には指導医の先生からレクチャーもあるので安心です。  
また、臨床研修センターでは様々なシミュレータを使用してスキルの向上が可能です。空いた時間は研修医同士で手技の練習もできます。

02

### 病棟業務



基本は専攻医・指導医の先生の下について業務を行います。朝からチーム内で1日の予定を確認します。検査や薬のオーダーなども上の先生に相談しながら行います。また、病棟では看護師や薬剤師、リハビリの療法士などの職種の方と連携し、チーム医療を実践しています。

02

### チームカンファレンス



呼吸器内科では、夕方にもチームでカンファレンスを行います。その日に生じた疑問や治療の相談をその日のうちに解決でき、次の日からの検査や治療をスムーズに行うことができます。

06

### カンファレンス・病棟回診



カンファレンスでは受け持ちの患者さんの状態について教授や指導医の先生にプレゼンを行います。今後の治療についての相談やアドバイスを頂ける場です。また、プレゼンの指導もありますので安心してカンファレンスで発表できます。  
回診では研修医もベツトサイドでディスカッションを行うことがあります。

03

### 救急外来研修 (希望制で月に1~4回)



研修医の救急外来研修は準夜帯(17:15~22:00)で行います。基本は研修医がファーストタッチを行います。必要な時は救急の先生も後ろから指導をしてくれます。空いた時間で手技の練習もできます。  
定期的に救急研修ができるので勉強になる一方、夜勤帯の勤務はないのでローテーションしている科の業務に専念もできます。

07

### 研修医室で休憩



研修医室では研修医しかいないのであんな話やこんな話もできます！病院内にある食堂やパン屋さんで食べることもできますが、病院内にある売店やセブンイレブンで買ってきて研修医室に集まって食べる人が多いです。

04

### 業務完了



カルテの入力や次の日の準備ができれば業務終了です。飲み屋も近くにたくさんあるので、救急外来の勤務がない日は同期で飲みに行くこともあります！

08

## ● 各種講習会



ロボット手術トレーニング



マイクロサージャリー顕微鏡講習会



輸液セミナー



FoCUS講習会



BLS講習会



CPC

## ● Q&A



### ローテートはいつ決めますか？



研修開始前年の12月頃に「希望調査票」を御提出いただき、1月を目処に2年間のローテートを作成します。2年目のローテートについては仮決定となり、研修1年目の10月頃に再調査をします。



### 研修が始まってからローテート診療科を変更できますか？



熊大病院研修中は、該当する診療科での研修が始まる1ヶ月前までは変更できます。他病院での研修中は、その病院の規定によります。



### 協力病院・施設はいくつ研修することができますか？



熊大病院と地域医療研修先病院を除き3病院・施設で研修可能です。ただし、12ヶ月は熊大病院で研修していただく必要があります。(地域医療研修の期間も含む。)



### 協力病院・施設はいつ決めますか？



熊大の診療科を決定する時と基本は同じです。1年目に回る病院については研修開始前に決定してもらいます。2年目に回る病院については、1年目の10月に改めて再調査をし、受入が可能な病院であればローテート先の病院を変更することが可能です。



### 3ヶ月以上協力病院・施設で研修する時に研修先病院・施設での雇用・給与基準を適用するとありますが、これはどういうことですか？



3ヶ月以上協力病院・施設で研修する際には、研修先病院での雇用となり、研修先病院の給与基準で給与が支払われます。

確かな指導のもとで、  
自分らしい成長を  
重ねていける  
場所です！



## ● 研修医の処遇

身 分	医員（研修医）として雇用
給 与	<ul style="list-style-type: none"> <li>●月額約300,000円(日給9,460円) (臨床研修必修化手当含む)</li> <li>●手当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修必修化手当：日額5,500円 (臨床研修必修化手当は、臨床研修に従事した日1日につき支給)</li> <li>・救急勤務医手当：1回につき18,000円(最大月4回まで)</li> </ul> </li> </ul> <small>※上記額から、雇用保険料、社会保険料及び所得税が控除されます</small>
通勤手当	通勤距離が片道2km以上の場合から支給される(手当額は、距離・方法により異なる)
住居手当	家賃に応じた額を支給(最大28,000円)
勤務時間	8:30~17:15
休 暇	年次有給休暇(採用日に10日付与)・夏季休暇・夏季一斉休業(その他、忌引き、産休等あり)
宿 舎	なし
社会保険など	文部科学省共済組合、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
医師賠償責任保険	大学で加入(2年間の初期研修期間は協力病院での研修時も、保険が適用される)
健康管理	定期的な職員健康診断等を実施
教 育	医学系契約サイト無料閲覧可(UpToDate、PubMed、電子ジャーナル等)、院内PHSは貸与する
学術活動	研修の妨げにならない範囲で学会等参加可能 各診療科の学会に参加することも可能です。(費用の負担については個別対応)
設 備	研修医室、共用PC(医療端末、インターネット端末)、院内Wi-Fi環境設備、個人机、ロッカー、ソファ、シャワー室、仮眠室

## ● 病院概要

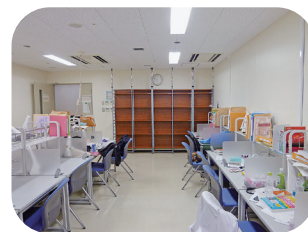
熊本大学病院では平成28年に新臨床研究棟が完成し、現在は屋外環境整備工事を行っており、新しい環境での研修が可能です。IT設備も整い、院内では資料を持ち歩かなくても医療用システムを介して診療状況が把握でき、研修中のデータ管理にも役立っています。また、個人用の無線LAN環境が整備され、UpToDate®等の最新の医療情報に自身の情報端末からアクセスでき、教育環境の向上にも役立っています。

- 病床数：845床
- 医師数(研修医を除く)：684名(うち臨床研修指導医数：159名)
- 1日平均外来患者数：1427名
- 1日平均入院患者数：734名
- 医療機関の承認・指定状況(承認・指定等年月日)
  - 臨床修練指定病院(昭和63年3月29日)
  - 特定機能病院(平成6年12月1日)
  - 都道府県がん診療連携拠点病院(平成18年8月24日)
  - エイズ治療中核拠点病院(平成19年7月11日)
  - 熊本県基幹型認知症疾患医療センター(平成21年5月1日)
  - 熊本県肝疾患診療連携拠点病院(平成21年5月13日)
  - (財)日本医療機能評価機構病院機能評価認定(平成21年6月5日)
  - 熊本県総合周産期母子医療センター(平成23年3月22日)
  - がんゲノム医療拠点病院(令和5年4月1日)

(令和8年4月現在)



くすのきテラス(アメニティ棟)



研修医室(個別机・ロッカー完備)

## 熊本大学病院群参加施設一覧

### 協力型臨床研修病院(61病院)

〈熊本県〉

●熊本市内

- 1 国立病院機構熊本医療センター
- 2 熊本市市民病院
- 3 熊本赤十字病院
- 4 済生会熊本病院
- 5 熊本中央病院
- 6 熊本地域医療センター
- 7 くまもと森都総合病院
- 8 熊本市立植木病院
- 9 福田病院
- 10 熊本機能病院
- 11 西日本病院
- 12 青磁野リハビリテーション病院
- 13 大腸肛門病センター高野病院
- 14 くまもと青明病院
- 15 鶴田病院 (※)
- 16 桜が丘病院 (※)
- 17 森病院

●熊本市外

- 18 国立病院機構熊本南病院
- 19 荒尾市立有明医療センター
- 20 くまもと県北病院
- 21 山鹿市民医療センター
- 22 国立病院機構熊本再春医療センター
- 23 労働者健康安全機構熊本労災病院
- 24 地域医療機能推進機構熊本総合病院
- 25 国保水俣市立総合医療センター
- 26 地域医療機能推進機構人吉医療センター
- 27 球磨郡公立多良木病院
- 28 天草地域医療センター
- 29 地域医療機能推進機構天草中央総合病院
- 30 荒尾こころの郷病院 (※)
- 31 山都町包括医療センターそよう病院
- 32 宇城総合病院
- 33 和水町立病院
- 34 川口病院
- 35 菊池郡市医師会立病院
- 36 阿蘇医療センター
- 37 小国公立病院
- 38 阿蘇温泉病院
- 39 阿蘇やまなみ病院
- 40 上天草総合病院
- 41 益城病院
- 42 希望ヶ丘病院
- 43 国立病院機構菊池病院
- 44 菊池有働病院
- 45 菊陽病院
- 46 平成病院
- 47 八代更生病院
- 48 海のみえるココロの病院
- 49 人吉こころのホスピタル
- 50 天草病院
- 51 酒井病院

〈山口県〉

- 1 地域医療機能推進機構下関医療センター

〈福岡県〉

- 2 大牟田天領病院
- 3 北九州総合病院
- 4 福岡徳洲会病院

〈大分県〉

- 5 新別府病院

〈宮崎県〉

- 6 宮崎県立延岡病院
- 7 国立病院機構都城医療センター
- 8 高千穂町国民健康保険病院
- 9 五ヶ瀬町国民健康保険病院
- 10 吉田病院

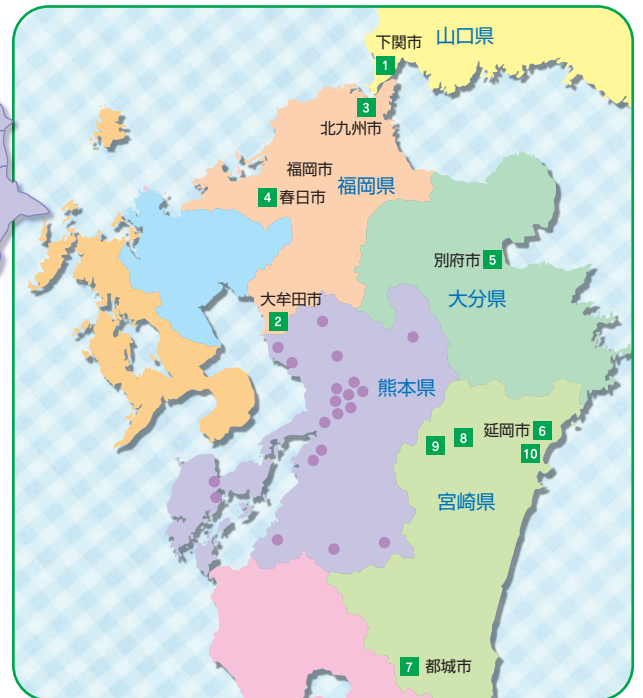
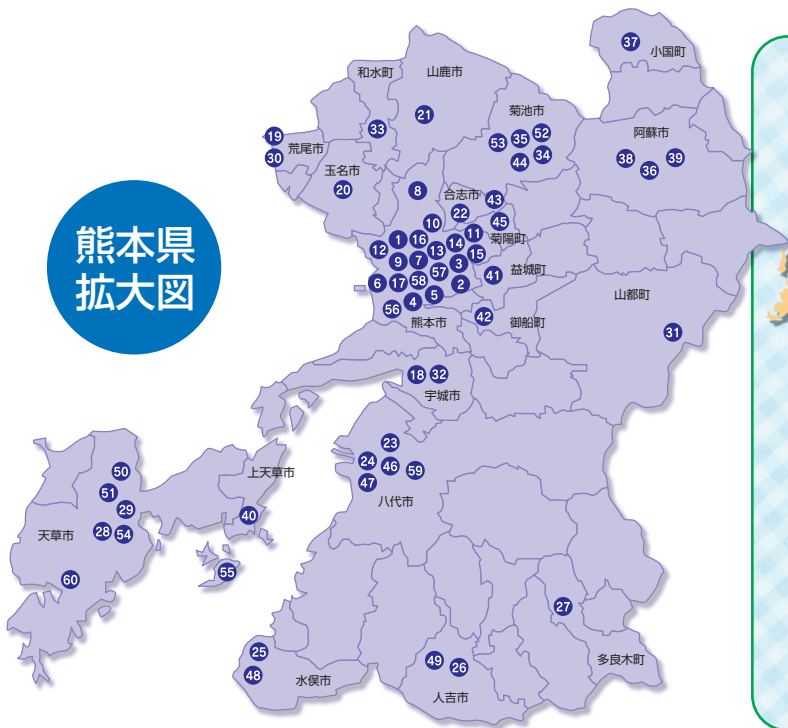
### 研修協力施設(9施設)

- 52 宮本内科クリニック
- 53 たがみクリニック
- 54 天草地域健診センター
- 55 天草市立御所浦診療所
- 56 あげぼのクリニック
- 57 熊本ホームケアクリニック
- 58 ひまわり在宅クリニック
- 59 地域医療機能推進機構熊本総合病院附属クリニック
- 60 国民健康保険天草市立河浦病院

※令和9年度プログラム不参加

※※令和8年5月時点での予定であり、変更となる可能性があります。

### 熊本県 拡大図



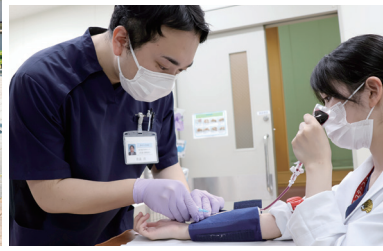
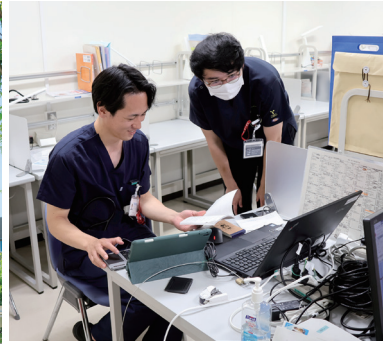
## ● 将来のキャリア形成につながるプログラム

初期研修で将来の目的を見つけ探求心を持つことが、医師としてのキャリア形成にはとても重要です。九州出身者を中心に多くの研修医が研鑽し、初期臨床研修を通じて3年目の進路を見出しています。初期臨床研修から専門研修へのつながりもスムーズな熊本大学病院群プログラムで視野を広げ、将来につながる研修を目指してください。

### 令和9年度 卒後臨床研修プログラム研修可能診療科(部)・専門研修プログラム名一覧

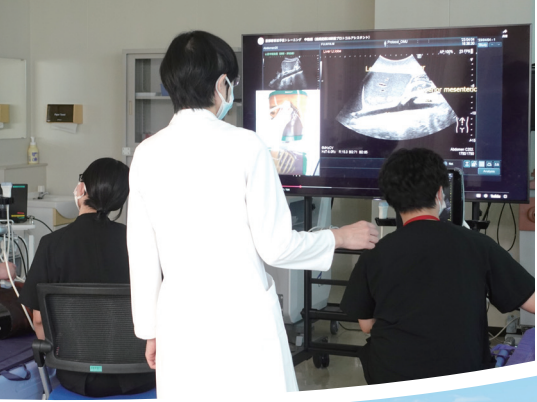
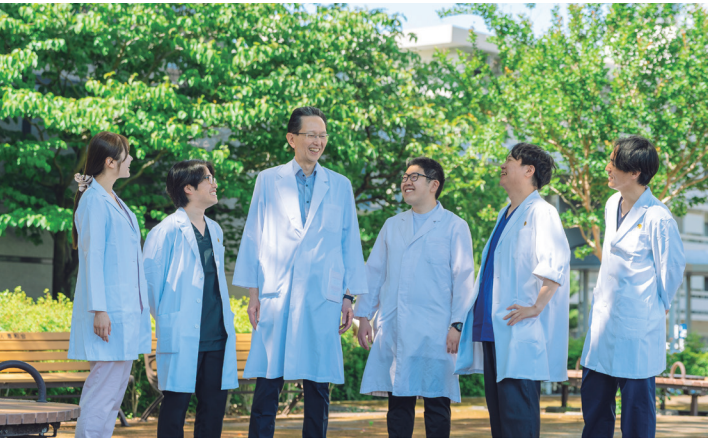
No.	卒後臨床研修プログラム 研修可能診療科(部)名	専門研修プログラム名
1	呼吸器内科	熊本大学病院内科専門医研修プログラム
2	消化器内科	
3	血液・膠原病・感染症内科	
4	腎臓内科	
5	糖尿病・代謝・内分泌内科	
6	循環器内科	
7	脳神経内科	
8	心臓血管外科	熊本外科専門研修プログラム
9	呼吸器外科	
10	消化器外科	
11	乳腺・内分泌外科	
12	小児外科・移植外科	
13	小児科	熊本大学小児科専門研修プログラム
14	産科・婦人科	熊本大学産婦人科研修プログラム
15	神経精神科	熊本大学病院連携施設精神科専門医研修プログラム
16	皮膚科	熊本大学皮膚科研修プログラム
17	眼科	熊本大学眼科専門研修プログラム
18	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	熊本大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム
19	泌尿器科	熊本大学泌尿器科専門研修プログラム
20	整形外科	熊本大学整形外科専門研修プログラム
21	脳神経外科	熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座プログラム
22	救急部	熊本大学病院救急科専門研修プログラム
23	麻酔科	熊本大学麻酔科専門医研修プログラム
24	画像診断・治療科	熊本大学病院放射線科専門研修プログラム
25	放射線治療科	
26	病理部	熊本大学を基幹施設とする病理専門医研修プログラム
27	中央検査部	熊本大学臨床検査専門研修プログラム
28	形成外科	熊本大学病院形成外科専門研修プログラム
29	リハビリテーション部	熊本大学リハビリテーション科専門研修プログラム
30	総合診療科(地域医療・総合診療実践学寄附講座)	熊本大学総合診療専門研修プログラム
31	集中治療部	—
32	緩和ケアセンター	—
33	法医学講座	—

※令和8年5月時点での予定であり、変更となる可能性があります。



「未来は、  
ここから動き出す」







Kumamoto University

## 熊本大学病院

総合臨床研修センター

研修センターのウェブサイトにはマッチングや研修に関する情報を多数掲載しています。研修に必要な書式やイベントの情報も逐次UPしています。今後のスケジュール確認のためにも是非一度閲覧してみてください。



## 創造する森 挑戦する炎

熊大スピリットを伝える言葉として「創造する森 挑戦する炎」をつくり、かつて本学に在籍された漫画家・井上雄彦氏に揮毫していただきました。

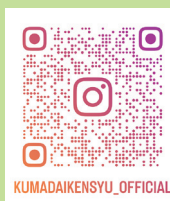
### ● 問い合わせ先

#### 熊本大学病院総合臨床研修センター

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号  
Tel. 096-373-5689・5994(直通)  
Fax. 096-373-5952  
E-mail: iys-kensyu@jimu.kumamoto-u.ac.jp  
<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/rinsyokensyu/>



HP



Instagram



LINE